

(様式—1 表紙)

1 調査名称：能美市総合都市交通体系調査

2 調査主体：能美市

3 調査圏域：小松能美市都市圏

4 調査期間：平成21年度～平成22年度

5 調査概要：都市計画決定後20年以上未整備、未着手となっている路線または区間、概成済区間、補助幹線道路の都市計画道路について、路線ごとの評価カルテを作成して、定量評価、定性評価を行なって見直しの方向性を導き出すとともに、総合的な観点から見直し、都市計画道路網の再編計画を策定する。なお、再編計画策定に当たって、住民説明会を開催とパブリックコメントを実施する予定である。

(様式一 2 a 調査概要)

I 調査概要

1 調査名

能美市総合都市交通体系調査

2 報告書目次

3 調査体制

能美市都市計画道路網見直し検討委員会
委員長 金沢大学大学院 教授 高山純一氏

能美市都市計画道路網見直し検討委員会 事務局
能美市 地域振興部 都市計画課

4 委員会名簿等

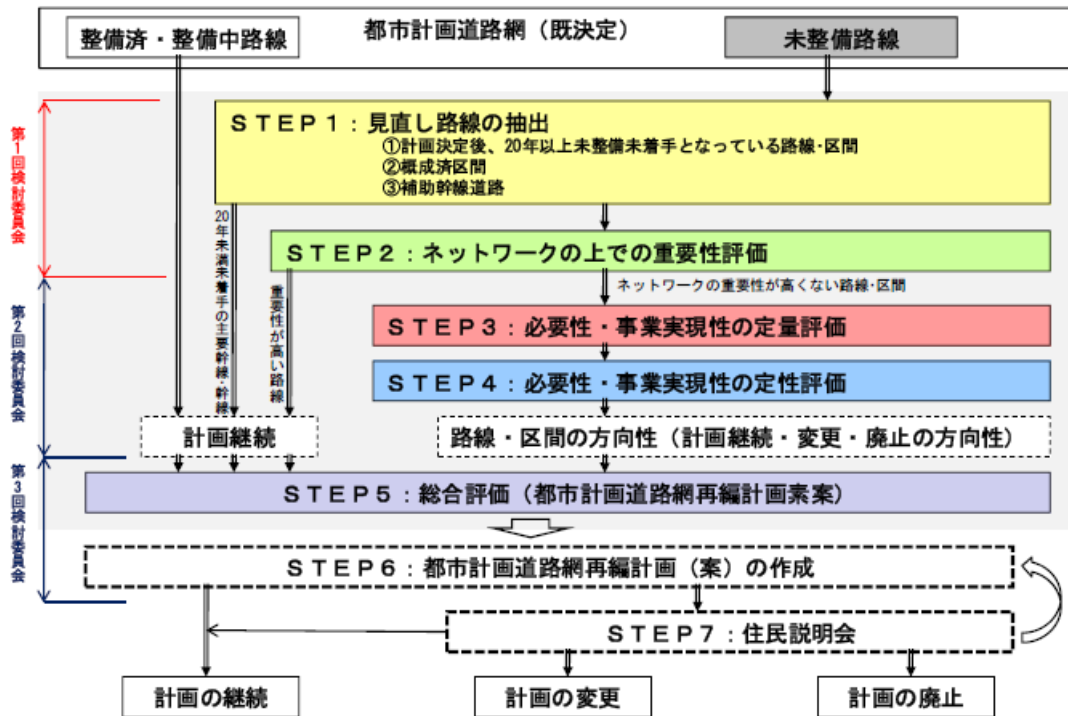
学識経験者 2名	金沢大学教授	高山 純一
	金沢工業大学教授	森 俊偉
各種団体代表 5名	能美市商工会会長	田上 好道
	能美市町会連合会 (根上地区)	山田 惇
	” (寺井地区)	川崎 俊雄
	” (辰口地区)	中村 三朗
	能美市婦人団体協議会顧問	村上 洋子
関係行政機関 3名	石川県土木部都市計画課長	竹村 裕樹
	石川県南加賀土木総合事務所長	東出 孝良
	能美市副市長	高塚 善衛

II 調査成果

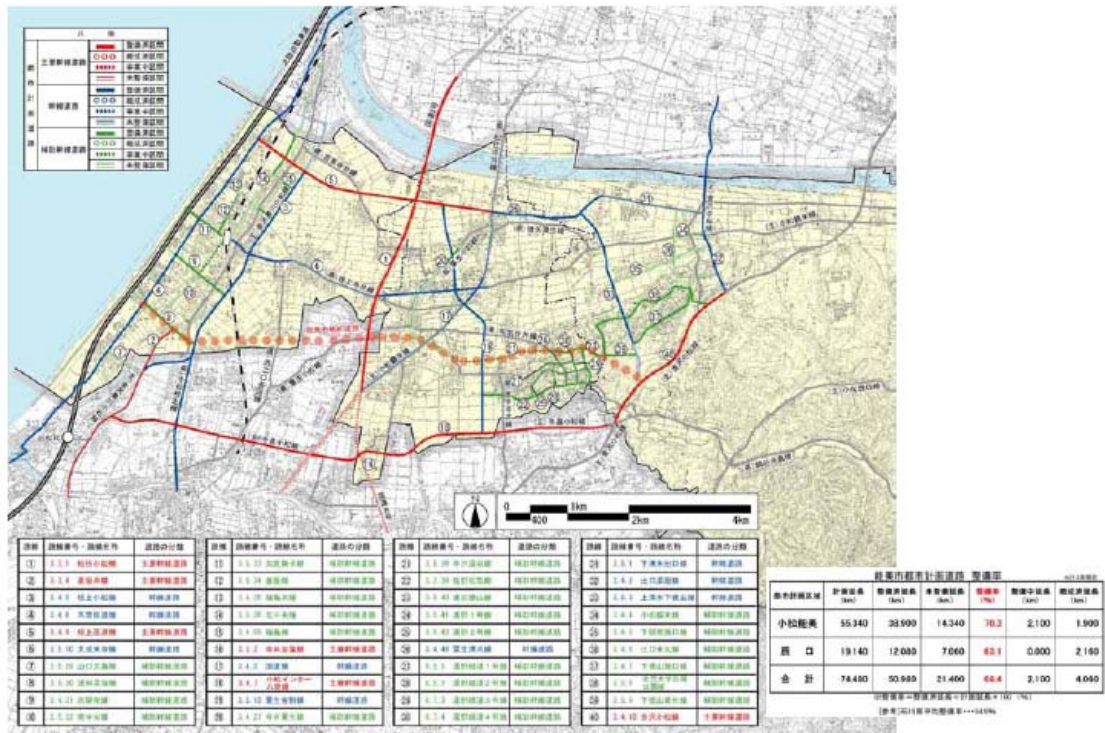
1 調査目的

都市計画道路は、都市の健全な発展と機能的な都市活動を確保するため都市交通における最も基幹的な都市施設として都市計画法で定められた道路であるが、能美市の都市計画道路の中には長期未着手のものも存在している。これらの長期未着手道路の中には、昨今の社会情勢の変化などを踏まえると必要性が変化している路線もあると考えられる。そこで、本調査では、能美市の将来像を見据え、都市計画道路が果たすべき役割や備えるべき機能を全市的、及び地域的観点から見直し、都市の発展に資することを目的とする。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

能美市には都市計画道路が40路線存在する。小松能美都市計画区域内(小松市内のものは除く)では計画延長55.34キロに対して整備済延長が38.9キロ、整備率は70.3%、辰口都市計画区域内では計画延長19.14キロに対し、整備済延長が12.08キロで整備率は63.1%となっている。また、能美市全体では計画延長が74.48キロで、整備済延長が50.98キロ、整備率は68.4%である。このように、市内では辰口都市計画区域の整備率が小松能美都市計画区域よりやや下回っているという状況であるが、一方で、石川県全体の整備率の平均は約55%であり、県全体からすると整備率はやや高めとなっている(平成21年3月時点)。

本調査では、これらの都市計画道路に対し、石川県の都市計画道路網見直しガイドライン(①都市計画決定後20年以上未整備、未着手となっている路線または区間、②概成済区間、③補助幹線道路)に基づいて計画の必要性の見直しを行った。その結果、道路ネットワーク上の観点から、都市の骨格形成に必要な路線としては重要性が高い根上国道線を除いた19路線、20.16キロが見直しの対象として抽出された。